

証券コード：3933
2026年6月11日
(電子提供措置の開始日 2026年6月4日)

株 主 各 位

東京都品川区東品川二丁目2番24号
チエル株式会社
代表取締役 川 居 睦
社長執行役員

第29期定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社第29期定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご案内申し上げます。

本株主総会の招集に際しては電子提供措置をとっており、インターネット上の下記ウェブサイトにて「第29期定時株主総会招集ご通知」として電子提供措置事項を掲載しております。

当社ウェブサイト
<https://www.chieru.co.jp/ir/>



また、上記のほか、インターネット上の下記ウェブサイトにも掲載しております。

東証上場会社情報サービス
<https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show>



上記の東京証券取引所ウェブサイトへアクセスして、当社名(チエル)又は証券コード(3933)を入力・検索し、「基本情報」「縦覧書類/PR情報」を順に選択の上、ご覧ください。

議決権の事前行使にあたっては、電子提供措置事項に掲載の株主総会参考書類をご検討いただき、以下のいずれかの方法により、2026年6月25日(木曜日)午後5時30分までに議決権を行使くださいますようお願い申し上げます。

[郵送による議決権行使の場合]

同封の議決権行使書用紙に賛否をご表示の上、上記の行使期限までに到着するようご返送ください。議決権行使書面において、議案に賛否の表示がない場合は、賛成の意思表示をされたものとして取り扱わせていただきます。

[インターネット等による議決権行使の場合]

3頁の「インターネット等による議決権行使のご案内」をご確認くださいようお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 日 時 2026年6月26日(金曜日)午前10時00分
(受付開始時間は午前9時30分を予定しております。)
2. 場 所 東京都品川区東品川二丁目2番24号
天王洲セントラルタワー27階 「ホール27」

3. 会議の目的事項

- 報告事項**
1. 第29期（2025年4月1日から2026年3月31日まで）事業報告及び連結計算書類の内容並びに会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件
 2. 第29期（2025年4月1日から2026年3月31日まで）計算書類の内容報告の件

※報告事項の取扱いにつきましては、4ページに記載の「第29期定時株主総会の継続会の開催方針について」をご参照ください。

決議事項

議案 取締役(監査等委員である取締役を除く。)5名選任の件

4. その他招集にあたっての決定事項

- ・ 議決権行使書に賛否の意思表示がない場合の取扱い
各議案につき賛否の表示のない場合は、賛成の意思表示があったものとしてお取扱いいたします。

以 上

- ・ 当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。
- ・ 電子提供措置事項に修正が生じた場合は、掲載している各ウェブサイトにて修正内容を掲載させていただきます。
- ・ 株主総会にご出席の株主様へのお土産のご用意はございません。何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。
- ・ 今後、株主総会実施の変更点が生ずる場合は、当社ウェブサイトにて掲載することによりお知らせいたします。
<https://www.chieru.co.jp/ir/>

インターネット等による議決権行使のご案内

インターネットによる議決権行使は、スマートフォンまたはパソコン等から議決権行使ウェブサイトへアクセスいただき、画面の案内に従って行使していただきますようお願いいたします。

議決権行使期限

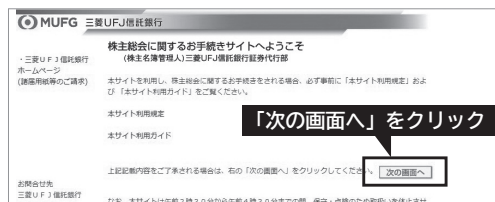
2026年6月25日(木曜日)午後5時30分まで

議決権行使ウェブサイト

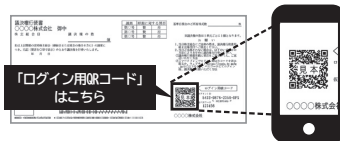
<https://evote.tr.mufg.jp/>



1 議決権行使ウェブサイトへアクセスする



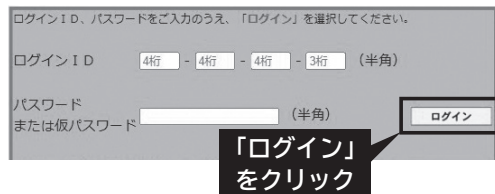
スマートフォンでの議決権行使は、「ログインID」「仮パスワード」を入力することなく議決権行使サイトにログインできます。



議決権行使書用紙

※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

2 お手元の議決権行使書用紙の副票（右側）に記載された「ログインID」および「仮パスワード」を入力



！ ご注意事項

- インターネットより議決権を行使される場合は、郵送によるお手続きは不要です。
- 郵送とインターネットにより、二重に議決権行使をされた場合は、インターネットによる議決権行使の内容を有効として取り扱っていただきます。
- インターネットにより、複数回数にわたり議決権行使をされた場合は、最終に行われた議決権行使の内容を有効として取り扱っていただきます。

議決権行使サイトの操作方法に関するお問い合わせについて

三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部（ヘルプデスク）

0120-173-027

（通話料無料、受付時間：9：00～21：00）

以降は画面の案内に従って賛否をご入力ください。

第29期定時株主総会の継続会の開催方針について

1. 定時株主総会の継続会の開催方針を決定した理由

当社は、2026年6月26日開催の第29期定時株主総会(以下、「本総会」といいます。)の目的事項のうち、下記の報告事項に関しましては、本総会でご報告ができない状況となりましたため、本総会の継続会を開催してご報告させていただきたく、その旨を本総会にて株主の皆様にお諮りする所存であります。株主の皆様には、多大なるご迷惑とご心配をおかけいたしますことを深くお詫び申し上げますとともに、ご理解を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

報告事項

1. 第29期(2025年4月1日から2026年3月31日まで)事業報告及び連結計算書類の内容並びに会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第29期(2025年4月1日から2026年3月31日まで)計算書類の内容報告の件

当社の子会社において法令に違反する疑義が生じたため、当社と利害関係を有さない外部専門家を含めた特別調査委員会を設置し、事実関係の解明及び決算関連手続きの早期完了のため、当特別調査委員会による調査に協力することとなりました。当特別調査委員会による、本件疑義の事実関係の解明及び類似する問題の有無、並びに、会計処理の適切性に係る調査の報告の時期は現時点で未定であることから、現点において決算関連手続きが完了しておりません。このため、当社は第29期の事業報告、連結計算書類、計算書類、会計監査人の監査報告及び監査等委員会の監査報告を提供できない状況となっております。

つきましては、当社は、当特別調査委員会による調査報告を踏まえた会計監査人の監査報告の受領など所要の手続きを完了次第、速やかに本総会の継続会を開催し、第29期決算報告をさせていただくとともに、継続会の日時及び場所の決定を取締役にご一任願うこと(以下、「本提案」といいます。)に関しまして、本総会において株主の皆様にお諮りする予定でございます。本総会において本提案をご承認いただきましたら、当社は、継続会の開催ご通知を株主の皆様へ別途ご送付し、開催させていただき所存でございます。

なお、継続会は本総会の一部となりますので、継続会にご出席いただける株主様は、本総会において議決権を行使できる株主様と同一となります。

2. 継続会の開催概要

当社は、本総会において、会社法第317条に基づき株主総会の「続行」の決議を行う方針といたします。当該決議に基づく継続会の開催概要は以下のとおりです。

(1) 日時・場所

継続会の日時及び場所につきましては、本総会において本提案をご承認いただきました後、決定次第速やかにお知らせいたします。

(2) 目的事項

報告事項

1. 第29期（2025年4月1日から2026年3月31日まで）事業報告及び連結計算書類の内容並びに会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第29期（2025年4月1日から2026年3月31日まで）計算書類の内容報告の件

株主総会参考書類

議案に関する参考事項

議 案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）5名選任の件

取締役（監査等委員である取締役を除く。）全員（5名）は、本総会の終結の時をもって任期満了となりますので、取締役（監査等委員である取締役を除く。）5名の選任をお願いするものであります。

取締役（監査等委員である取締役を除く。）候補者は次のとおりであります。

| 候補者番号 | ふりがな 氏名 (生年月日) | 略歴、当社における地位、担当及び重要な兼職の状況 | 所有する 当社の 株式の数 |
|-------|------------------------------------|---|---------------------|
| 1 | かわいむつみ 川居 睦 (1962年11月20日) | 1986年4月 タカギエレクトロニクス株式会社入社 1993年11月 アルプスシステムインテグレーション株式会社入社 1999年10月 株式会社旺文社デジタルインスティテュート株式会社 (現当社) 取締役 2005年6月 アルプスシステムインテグレーション株式会社 取締役 2006年10月 当社代表取締役(現任) 2017年6月 沖繩チエル株式会社 代表取締役 2025年1月 株式会社オキジム 取締役(現任) (重要な兼職の状況) 株式会社オキジム 取締役 | 2,041,300株 |
| 2 | かたおかひさのり 片岡 久 議 (1967年8月15日) | 1991年4月 日本銀行入行 1999年5月 コロンビアビジネススクール MBA 取得 2002年1月 スタンダード・アンド・プアーズ入社 2003年2月 ブルデンシャル・インベストメント・マネジメント入社 2003年7月 預金保険機構 入構 2004年11月 リーマン・ブラザーズ証券株式会社入社 2006年3月 ティーオーエー株式会社(現 株式会社東亜) 入社 2008年9月 株式会社東亜 代表取締役(現任) 2015年12月 株式会社アルファクス・フード・システム 社外取締役 2018年5月 株式会社MIMAチャレンジ 代表取締役 2023年7月 四国チエルクリエイト株式会社 代表取締役 2023年7月 チエルコミュニケーションブリッジ株式会社監査役 2024年6月 当社取締役(現任) 2024年6月 四国チエルクリエイト株式会社 取締役(現任) 2025年1月 株式会社オキジム 取締役(現任) (重要な兼職の状況) 四国チエルクリエイト株式会社 取締役 株式会社オキジム 取締役 | 18,800株 |

| 候補者 番号 | ふりがな 氏名 (生年月日) | 略歴、当社における地位、担当及び重要な兼職の状況 | 所有する 当社の 株式の数 |
|-----------|---------------------------------|--|---------------------|
| 3 | わかまつひろお 若松洋雄 (1976年6月29日) | 1999年4月 株式会社ヨックモック入社 2008年9月 当社入社 2017年4月 当社マネジメントサービス部長 2017年4月 株式会社VERSION2監査役 2017年6月 当社取締役(現任) 2017年9月 SHIELDX株式会社 監査役 2019年6月 株式会社昭栄広報 監査役 | 42,300株 |
| 4 | まえだよしかず 前田喜和 (1972年8月29日) | 1993年4月 株式会社アーテック入社 2003年4月 アルゴノート株式会社入社 2003年10月 アルプスシステムインテグレーション株式会社入社 2008年3月 アルプスシステムインテグレーション株式会社から 当社へ転籍 2011年12月 当社製品開発部長 2016年6月 当社取締役(現任) 2017年4月 株式会社VERSION2取締役 2017年9月 株式会社コラボレーションシステム 取締役 2018年4月 当社製品技術部長 2018年6月 株式会社VERSION2代表取締役 2018年6月 SHIELDX株式会社 取締役 2023年6月 沖縄チエル株式会社取締役 四国チエルクリエイト株式会社 取締役 2024年6月 トラストコミュニケーション株式会社 取締役 2025年1月 沖縄チエル株式会社代表取締役 2025年6月 トラストコミュニケーション株式会社 代表取締役(現任) 2025年6月 株式会社コラボレーションシステム 取締役(現任) (重要な兼職の状況) トラストコミュニケーション株式会社 代表取締役 株式会社コラボレーションシステム 取締役 | 58,000株 |
| 5 | あわたあきら 粟田輝 (1982年4月20日) | 2008年4月 株式会社日本総合研究所入社 2018年4月 当社へ出向 社長室長 2019年4月 当社入社 2019年6月 当社取締役(現任) 2019年11月 当社製品開発部長 2021年6月 当社代表取締役 2025年6月 チエルコミュニケーションブリッジ株式会社 代表取締役(現任) (重要な兼職の状況) チエルコミュニケーションブリッジ株式会社 代表取締役 | 14,200株 |

- (注) 1. 各取締役候補者と当社との間には特別の利害関係はありません。
2. 川居睦氏は、ICT市場に長年携わり、様々な技術革新やパラダイムシフトを経ながら、当社の事業を創業期より発展させてまいりました。ICT市場における経営者としての優れた見識と深い経験が当社グループ全体の経営の監督及び企業理念の役職員への浸透に不可欠であり、同氏が取締役として適任であると判断しており、引き続き選任をお願いするものであります。
3. 片岡久義氏は、銀行・証券会社等の金融機関に勤務実績があり、アナリストや調査役としても企業財務分析、経営支援に関わってきたほか、当社グループとしては四国チエルクリエイト株式会社での代表取締役としての経験がございます。今後は、当社の業務執行取締役として、事業戦略及びIR戦略・資本政策の立案と実行等の役割を担うことにより、企業価値の向上に寄与するものと判断しており、引き続き選任をお願いするものであります。
4. 若松洋雄氏は、事業会社及び当社において25年以上の経理・財務の専門知識と経験を持つとともに、上場経験や上場後のM&A等幅広く当社の経営の基盤整備を行っており、当社の企業価値を持続的に向上させるため、同氏が取締役として適任であると判断しており、引き続き選任をお願いするものであります。
5. 前田喜和氏は、主にICT技術に精通し、当社の開発責任者及び営業責任者を務めてまいりました。また、2017年以降は当社グループ子会社の代表取締役として陣頭指揮を執っております。その製販に関する豊富な経験と実績を有することを踏まえ、当社の企業価値を持続的に向上させるため、同氏が取締役として適任であると判断しており、引き続き選任をお願いするものであります。
6. 粟田輝氏は、株式会社日本総合研究所においてコンサルタントとして数々の企業の経営戦略立案及び実行支援に携わった後、2018年以降は、その豊富な知見によって、当社の中期経営計画の策定及び実行を主導するなど、当社の成長を牽引してまいりました。当社の企業価値を持続的に向上させるため、同氏が取締役として適任であると判断しており、引き続き選任をお願いするものであります。
7. 当社は、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結しており、各候補者が当社取締役になされた場合には、各氏は当該役員等賠償責任保険契約の被保険者となります。その契約の概要等は以下のとおりです。なお、次回更新時には、同様の契約内容で更新を予定しております。
- ① 被保険者の範囲
当社及び当社の全ての子会社の全ての取締役（監査等委員を含む）及び監査役で、既に退任されたものも含まれます。
- ② 保険契約の内容の概要
(イ) 被保険者の実質的な保険等負担割合
保険料は会社負担としており、被保険者の実質的な保険料負担はありません。
- (ロ) 填補の対象となる保険事故の概要
被保険者が負担することになる責任追及の訴えに係る争訟費用、法律上の損害賠償金を支払うことによる損害を当該保険契約により填補することとしております。ただし、法令もしくは取締役法規に違反する行為であることを認識して行った行為に起因して生じた損害は補填されないなど、一定の免責事由があります。

【ご参考】

取締役のスキル・マトリックス

| | 氏名 | 経営 全般 | 業界 知識 | 国際 経験 | 営業 販売 | 技術 開発 | 財務 会計 | 法務 |
|-----------------|-------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----|
| 取締役 | 川居 睦 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | 片岡 久議 | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ |
| | 若松 洋雄 | ○ | ○ | | | | ○ | ○ |
| | 前田 喜和 | ○ | ○ | | ○ | ○ | | |
| | 粟田 輝 | ○ | ○ | ○ | | ○ | | |
| 監査等委員 である取締役 | 片岡 伸介 | | | | | | ○ | |
| | 呉 明植 | | | | | | | ○ |
| | 本田 真吾 | | | | | | | ○ |

以 上

